

性教育講演会をうけて

12月1日、助産師鈴記洋子さんにご来校いただき、性教育を通した命の大切さについてご講演くださいました。助産師の仕事や命の誕生、思春期の身体と心の変化、妊娠と中絶、デートDVなど、多岐にわたる知識や最新の知見、助産師の経験談、そして実際の出産場面を映像で見せていただきました。生徒の感想には自分や他者を大切にしたい思い、性や命の大切さについて、多く書かれていました。このおたよりをとおして、命の誕生や性について、ご家族で話し合うきっかけにもらえる幸いです。



講演会感想



妊娠 21 週目

助産師は、子どもや女性、家族に一生を通して寄り添っていく仕事だと知った。

自分の命は、母が長い時間をかけて、大変な思いをしたこと、そしてたくさんの人のおかげで自分が生まれたことがわかりました。親に自分が産まれたときの話を聞いてみたいと思いました。

僕自身も、人の命を奪うことがあると思い、心が引き締まる思いだった。デートDVも僕はすぐカットとなりやすいので、冷静になっていきたいと思った。

中絶とは、心拍の間こえる一人の赤ちゃんの命を奪ってしまう。どこからが「命」？

感情の変化が激しいのは、脳が発達しているサインなのだと知った。よく急にイライラしたり落ち込んだりすることがあるが、成長していると思うと、あまり気にしない方がいいなと思った。

中絶の話がありましたが、僕は前まで「すればいいのでは」と思っていました。しかし、赤ちゃんが動いているなど、改めて命の大切さを知って、中絶がとても悩む、深刻なものであることがわかり、軽い気持ちで考えるのは止めようと感じました。

二次成長とは「いのち」をつなぐ準備です

からだ
げっけい しゅせい
月経・射精など

しゃがいせい
社会性
ひと はなし き
人の話を聞ける
じぶん かんが った
自分の考えを伝える

こころ
がまんする力
よそく
予測する力など

NO!と言える力

印象に残ったことは「アンビバレント」です。今はまだ、脳が発達の途中であり、自立したい心と甘えたい心が揺れ動いている時期だということがわかり、それを大事にして生活していきたいと思いました。

思春期は自我の確立の時期なので、自分だけと不安にならずに、自分の心とこれから向き合っていきたいです。

特に気になったのは、あと数年で心が落ち着くことです。僕は自分では反抗期は感じませんが、色々親に話すっていうのはそんなに気分がいいことじゃないので、安心しました。

新しいことにチャレンジしたくなる時期だと知ったので、どんどんチャレンジして、いろんな世界を見たいなと思いました。今、親に強く当たっていることもあるので、自分の本当の気持ちと相談しながら、発言したいと思いました。

私は今、命をつなぐ準備をしていると知ったので、今の私に何ができるのかを考えながら生活していきたいと思いました。

交際している時は、相手のことを考え、それを言葉にして相手に伝えなければならないと思いました。

デートDVには、単に暴力だけではなくて、精神的・経済的など色々な種類があるんだなと思った。

自分の不安な気持ちは思春期なら誰にでもあることだと知れて少し安心した。同性だけでなく、異性の体のつくりや生殖のしくみについて詳しく知ることが出来た。全体的に踏み込んだ内容について学べる事が出来、いい経験にすることができた。